報告月日　令和８年　９月　18 日
報告者　兼子　美穂

地域医療支援病院運営委員会および地域協議会 議 事 録

開催月日	令和８年　８月　17 日（月）書面開催		
開催場所	書面開催		
委員長	寺本　信先生	事務局	総合支援センター：兼子
委員出席者 （敬称略）	〔外部委員〕 寺本　信　（札幌市医師会豊平支部　副支部長） 佐藤　恵　（腎臓内科めぐみクリニック　院長） 家里　琴絵　（豊平区役所保健センター　札幌市豊平区保健担当部長） 佐々木　泉顕　（弁護士法人　佐々木総合法律事務所） 中川　大輔　（札幌薬剤師会　豊平・清田支部長） 向　俊孝　（札幌市民政委員児童委員協議会　理事） 〔当病院職員〕 古家　乾　（JCHO 北海道病院　病院長） 数井　啓藏　（JCHO 北海道病院　副院長兼総合支援センター長） 長　和俊　（JCHO 北海道病院　副院長兼周産期医療センター長） 長井　桂　（JCHO 北海道病院　副院長兼呼吸器内科診療部長） 高田　弘樹　（JCHO 北海道病院　事務部長） 沓澤　佳代子（JCHO 北海道病院　看護部長）		
委員欠席者 （敬称略）			
要旨	１．地域医療支援病院実績報告 １）　医療連携・救急・共同利用 4-6 月の紹介率は 63.7%、逆紹介率は 135.7%であり、地域医療支援病院の要件を満たしている。救急搬送の受け入れは 4-6 月で 482 件であった。 （質問）同じ規模の病院としての紹介率の基準が分からない （返答）札幌市内の地域医療支援病院 8 病院の令和 7 年度紹介率平均は 87%であり、当院も引き続き紹介受け入れを積極的に行い、体制見直しを実施する ２）　手術等・研修の実績 ダヴィンチ使用実績は昨年度比ほぼ同じ。 地域の医療従事者に向けた研修は 4-6 月で 2 件実施。 地域住民に向けた研修については、がんサロン実施のほか、医師とメディカルスタッフが地域に出向き実施した地域講演会を８月に開催予定。 ２．特定行為研修修了看護師の活動について 当院では様々な特定行為区分を修了した看護師が活躍している。現在研修中の看護師もいる。		

	（意見）看護師の特定行為研修の推進は、院内全体のレベルアップに貢献するものと考えます。 ３．とよひら周産期メディカルセンターより宿泊型産後ケア・初産婦の和痛分娩開始について 2025 年度から日帰り型の産後ケア事業を開始していたが、2026 年 7 月より宿泊方の産後ケアを開始した。また和痛分娩に関しては経産婦を対象としていたが、初産婦の和痛分娩を開始した。 （意見）産後ケア事業拡大は、孤立化がすすみ、メンタル合併も多い妊産婦ケアの選択肢が増えるということですので大変ありがたい事業です。 また、妊婦の望む出産を整った施設で可能にする初産婦和痛分娩につきましても、患者様に寄り添ったものと思いました。 ４．その他 １）　ふれあい看護体験 5 月 13 日にふれあい看護体験を開催した。11 名の高校生が参加し、看護師の仕事を体験することができた。 ２）　9 月 JCHO 北海道病院健康まつり開催予定 2024 年度から開始した健康まつりについて、今年度は 9 月 12 日（土）に健康まつりを予定している。 次回開催　令和 8 年 11 月 5 日（木）18：30～対面開催